

ワンちゃん（イワヤ製）の骨折治療法

2016.02.10/2022.07.12 改訂

トミー・マック

1. 外 観

おもちゃ名は「あかちゃんレトリバー」。

2. 特 徴

歩いて鳴いて、尻尾をかわいらしく振って、伏せができる、かわいいレトリバーのあかちゃんです。

トコトコ尻尾をゆらしながら前進し、立ち止まって尻尾を激しく振り、次は鳴きながら伏せのアクションをします。



3. 故 障

落としたり、踏みつけられたりして、脚の骨折、また脚のメカの軸が折れることもあり、歩き方がおかしくなります。

4. 修 理

脚の部品の分解と組立は、メカの修理のヒント「ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（脚など折れ）」を参照にしてください。

今回は、脚部品の骨折の治療例を中心に書きました。

（1）脚の骨折治療

骨折した脚の部位によって、治療法が異なります。臨機応変に対応してください。

...例1...

治療

ステンレス線φ0.3mm、φ0.9mm+接着材 PPX



...例2...

治療

ステンレス線φ0.3mm+接着材 PPX



ワンちゃん（イワヤ製）の骨折治療法

...例3.

治療

ステンレス線φ0.3mm+接着材 PPX



...例4.

治療

ステンレス線φ0.3mm+接着材 PPX



(2) 尻尾の骨折治療

...例

治療

ステンレス線φ0.3mm、φ0.9mm+接着材 PPX



(3) 軸受けの骨折治療

...例

治療

ステンレス線φ0.3mm+接着材 PPX



ワンちゃん（イワヤ製）の骨折治療法

（4）その他の犬の骨折治療

・例1.

治療

ステンレス線φ0.3mm、φ0.9mm+接着材 PPX



・例2.

治療

AL 線φ1.0mm+ステンレス線φ0.3mm+接着材 PPX



・例3.

治療

ステンレス線φ0.3mm、φ0.9mm+接着材 PPX



完 成

ワンちゃん（イワヤ製）の骨折治療法

5. その他

ワンちゃん（類似品も含めて）の修理で、気を付けなければならないことは、

（1）ぬいぐるみを剥がす時、糸を切らないこと

ぬいぐるみの生地は意外と伸びるので、引っ張って脚の隙間にマイナスドライバーなどを当て、生地を滑らしながら、生地をずらします。

（例） →

あるいは、ぬいぐるみを外しやすい姿勢に脚を動かします。

特に尻尾は、前脚を直立状態にして、ぬいぐるみを後ろに引っ張り易くしてから、後脚を外し、次に外します。

前脚から先に外すと、ぬいぐるみが前脚に引っかかり、ぬいぐるみが後ろに伸びないので、後脚が外せません。

無理に尻尾を曲げて外そうとすると、尻尾が折れるので注意を要します。

糸を切るとぬいぐるみを外しやすいですが、再び縫うことを考えると、後で手間がかかり、しかも出来栄が元に戻りません。



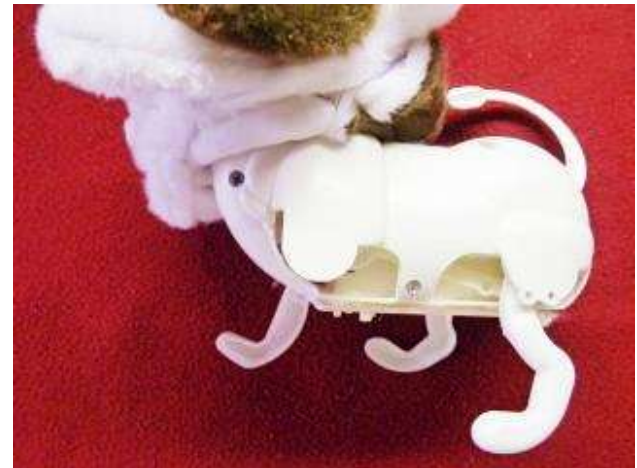
（2）ぬいぐるみを剥がす時、頭部は残す

頭部のぬいぐるみだけは外さない。最悪でも眼と鼻と口は剥がさないことです。

（例） →

この状態からでも、左右のケースを外すことが可能です。

特に眼玉は圧入されているので、入れ直すのが大変ですし、眼の微妙な位置や傾きでイメージが変わります。



（3）手を洗う

ぬいぐるみの修理では、油や接着剤および汚れた工具などを使うことが多く、ぬいぐるみを触ると汚れが付いてしまうことが良くあります。

特に白いぬいぐるみは、汚れが目立ち、一度付いてしまうと簡単には取れないので注意が必要です。

ぬいぐるみを脱がす時や、着付ける時には手を洗いましょう。

終わり